

イ 各部研究主題

部 会	研究主題・昭和62年度（第1年次） 研 究 副 主 題
国 語	国語科における自ら学ぶ力を育てる指導はどうあればよいか。 ○ 言語事項における「自ら学ぶ力を育てる授業」の展開
社 会	課題意識をもって意欲的に学習に取り組む態度を育成するため、社会科の授業をどうすればよいか。 ○ 生徒一人一人の課題意識を高める指導法の工夫
数 学	生徒一人一人の課題追究の意欲を高め、自ら学びとる力を身につけさせるには、どのように指導すればよいか。 ○ 「数と式」の領域について
理 科	生徒が自ら意欲的に自然を調べるための授業は、どうあればよいか。 ○ 観察・実験のつまずきの追求
音 楽	音楽の美しさを求め、意欲的に学習する生徒を育てる指導はどうしたらよいか。 ○ 興味・関心や学習意欲を高める指導計画の工夫
美 術	意欲的に取り組みませ、造形活動の喜びを味わわせる指導はどうあればよいか。 ○ 表現意欲と評価
保 健 体 育	運動の合理的な実践を通して、強い意志力や体力をいっそう高める授業はどうすればよいか。 ○ 生徒がすすんで授業に参加する指導計画と指導方法の研究
技 術 ・ 家 庭	創造性を伸ばし、実践力を育てる学習指導はどうすればよいか。 ○ 学習の仕方を身につけさせる
外 国 語 (英 語)	生徒一人一人の表現力を伸ばすには、教科書の活用と授業展開をどう工夫したらよいか。 ○ 指導計画作成と教科書活用の理論・事例研究
道 徳	価値を主体的に自覚し、道徳の実践力を高める道徳の時間の指導はどうあればよいか。 ○ 価値を主体的に自覚し、道徳の実践力を高める資料の活用・分析
特 別 活 動	望ましい集団活動を通して、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導はどうあればよいか。 ○ 計画的、組織的な集団活動の指導

② 組織及び財政の状況

- 会長 加藤 茂雄 福島市立岳陽中学校
- 会員数 4,570名
- 昭和62年度の決算額 9,637,730円
- 上記のうち補助金額 1,360,000円

③ 主な事業

- 研究協議会

ア 主 催

福島県教育委員会、福島県中学校教育研究会

イ 期日・会場

- (ア) 支部研究協議会 7月25日～8月19日の内1日間
県内16会場
- (イ) 県研究協議会 10月13日～10月14日の内2日間
いわき地区12会場

ウ 参加者

国、公、私立の中学校教員

- 支部研究協議会 3,835名
- 県研究協議会 1,045名

エ 指導助言者

指導主題、指導委員、校長、教頭、教諭等

(4) 福島県小学校長会

① 組織及び財政の状況

- 会長 村岡 房之助 福島市立福島第二小学校
- 会員数 551名
- 昭和62年度の決算額 7,541,193円
- 上記のうち補助金額 240,000円

② 主な事業

- 第16回福島県小学校長会研究協議会喜多方大会
 - ・ 研究主題 21世紀に生きる日本人の育成をめざす小学校教育の創造
 - ・ 開催期日 10月7日・8日
 - ・ 開催地 喜多方市
 - ・ 参加人数 551名

(5) 福島県中学校長会

① 組織及び財政の状況

- 会長 小林 四郎 福島市立福島第一中学校
- 会員数 244名
- 昭和62年度の決算額 4,133,968円
- 上記のうち補助金額 170,000円

② 主な事業

- 第16回福島県中学校長会研究協議会喜多方大会
 - ・ 研究主題 21世紀を拓く日本人を育成する中学校教育
 - ・ 開催期日 10月7日・8日
 - ・ 開催地 喜多方市
 - ・ 参加者 244名

(6) 福島県公立小・中学校教頭会

① 組織及び財政の状況

- 会長 高橋 保之 福島市立鎌田小学校
- 会員数 845名
- 昭和62年度決算額 6,194,694円
- 上記のうち補助金額 210,000円

② 主な事業

- 第9回福島県公立小・中学校教頭会研究大会福島大会
 - ・ 研究主題 未来をひらく学校教育の推進と教頭のあり方
 - ・ 開催期日 9月8日・9日
 - ・ 開催地 福島市
 - ・ 参加人数 1,047名